

1 年生防災スクール

本年度の防災スクールは、体育館にて「大地震と津波」に関するDVD鑑賞を行いました。近い将来、高い確率で起こると言われている南海トラフ地震に対し、改めて危機意識を持ち、正しい判断と的確な行動によって「自分の命を守る」ことを再確認しました。鑑賞後は、各クラス4グループに分かれて、HUG「避難所運営ゲーム」を行いました。これは、本校を災害時の避難所と想定し、避難者の年齢や性別などさまざまな事情が書かれたカードを体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、またそこで起こる出来事にどう対応していくかを模擬体験し、避難所運営を皆で協力しながら考えるものです。各グループではアイデアや工夫を凝らし、楽しみながらも真剣に取り組みました。

「防災スクールを体験して」 1-1 小林琉倭

今日の防災スクールを体験して、僕はまだまだ考えが足りなかったと痛感しました。今までは地震が起きるとどこへ逃げるかや、起きた直後の行動などを学んだりしていました。ですが、今回の防災スクールではHUG（避難所運営ゲーム）をして、避難後の現実と課題を目の当たりにしたとき、僕は本当にやっていけるのか不安になりました。特に思った点は避難者はみんながみんな健康なわけではないというところです。認知症やぜんそく、障がい、妊娠している人たちをどこに置くか。それぞれの要望（イベント）に対応しているとだんだん使える部屋がなくなっていったりイヌ、ネコ、鳥などのペットをどうするか。トイレの事情、人間関係、考えることが多すぎて頭がパンクしそうでした。ですが、HUGのおかげで本当にその状態になったときに、少しは自分なりの対応が出来るようになる気がします。今後、地震についてもっと深く考えようと思いました。

